

Title	13.全体討論(昭和51年度基研長期研究計画「配位相転移の研究」拡大世話人会)
Author(s)	記載なし
Citation	物性研究 (1976), 27(2): B65-B65
Issue Date	1976-11-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/89225
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

上田：恒温にしておいても，本質的な変化はない。

松田：誤差の問題は深刻と考えるか？

内藤：調べるものによる。

松田：perturbationが働いていると思えばよいのではないか。

全 体 討 論

本田：1次相転移であるということは，融解とどのくらい本質的なつながりがあるか？

小川：マルテンサイト変態の場合，徐々に移っていくのは，界面の存在と関係していると聞いたが。

二宮：マルテンサイト変態は1次転移だが，2次転移のように議論する人がいる。

大川：結晶の場合はfittingの問題があり，ひずみができる。

二宮：マルテンサイト変態の観測では，ソフトモードがあるようだが。

吉田：樋渡氏の話の中でのg点はspinodal decomp.と関係するか？

二宮：エネルギー論よりは速度論的なもの。

吉田：g点はdefiniteか？